

石川県立小松工業高等学校同窓会中京支部の歩み

平成23年(2011年)6月初版発行

発行責任者 村田輝好(S39年実E)

編集責任者 藪 卓二(S46年工M)

資料ご提供 石原準一郎(S22年E5)

目次

- | | |
|-----------------|----------|
| 1、当支部の歩み発行に当たって | 3 ページ |
| 2、母校創立と現在までの略歴史 | 4～5 ページ |
| 3、当支部の今日までの略歴史 | 6～14 ページ |

1, 当支部の歩み発刊に当たってのご挨拶

同窓会中京支部
支部長 村田輝好

母校校長先生及びご関係の先生方、同窓会本部役員の皆様、県内/県外各支部長様、はるか母校と姉妹校にある高知県立高知工業高等学校諸先生方、同窓会本部会長様及び当地区の同窓会東海支部様(愛称南風会ご関係者様)、そして当支部幹事&会員の皆様方、平素は当支部活動に格別のご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

時代も昭和から平成に代わり早平成23年を迎えました。現存の当支部会員さんの最長老は80歳半ばを迎え、加えて歴代当支部長さんの物故者多く、この時期に我が支部の歴史を纏めないと、後世に伝えることができないとの危機感から編纂を思いつきました。幸い元幹事の石原準一郎様から詳細な当時の各資料のご提供を頂きました。それで当支部顧問(前支部長)、副支部長及び3役のメンバーで編纂にとりかかり、抜けはあるかとは存じますがここに初版発行となりました。

編集委員を代表して厚く御礼申し上げます。

当支部は(愛知県、岐阜県、三重県、静岡市以西)、母校卒業生約16000名の約1%に当たる約160名が名簿上の会員として登録されております。

母校と同窓会との関係、先輩が後輩を指導する。後輩が先輩を慕う昔の良き絆が廃れてきた昨今、同窓会自体そして支部の存続も大変厳しい時代を迎えました。

しかし母校がある限り当支部も永久に活動したいと願望しております。

過去当支部を今日迄成育成下さいました母校校長先生初め諸先生方、同窓会本部役員、諸先輩そして会員の皆様方に重ねて御礼申し上げ、益々のご健勝をご祈願申し上げます。

尚、今後母校&各方面から資料を頂戴し、本誌の輔弼、拡充を図って参ります。
ご支援宜しくお願い申し上げます。

以上

当支部歴史纏め編集委員(年代別)

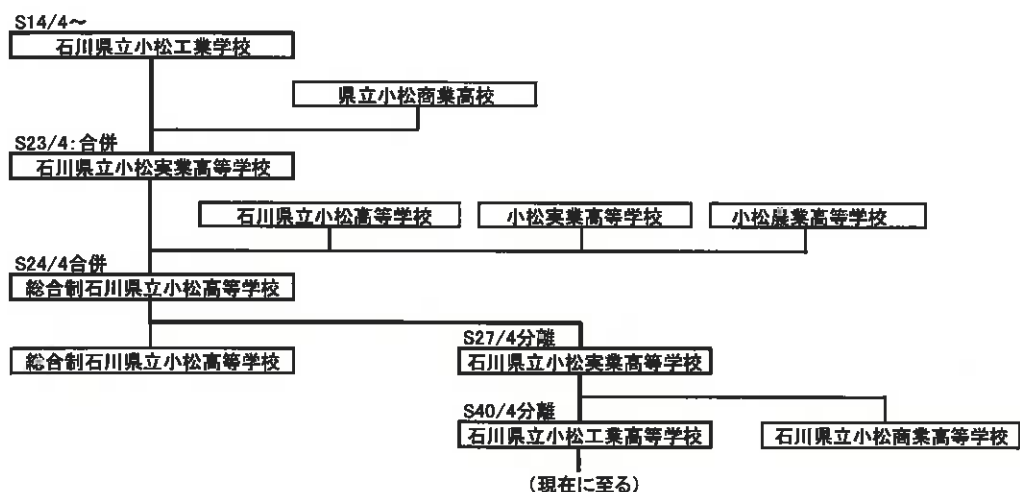
元幹事	石原 準一郎 (S22年E5)
顧 問	桶 昭一 (S37年実E10)
支部長	村田 輝好 (S39年実E12)
会 計	武田 克郎 (S40年実E13)
副支部長	升崎 幸一 (S42年工E2)
同	土田 外志男 (S43年工M3)
書 記	藪 卓二 (S46年工M6)

2. 母校創立と現在までの略歴史

母校及び同窓会会員名簿他各種資料により下記抜粋明記する。

1. 母校創立の経緯

母校創立は昭和13年11月の県議会で加賀、能登両地区より激しい設置要求が討論された。特に七尾市の議員からは「加賀には既に小松製作所あり能登地区発展のために、県内初の工業高校は七尾市に」と卓を叩き「県政は加賀に厚く能登に薄いのか？」との議論で、一旦は七尾市に傾いた。しかし当時の株式会社小松製作所が地元負担金21万5千円(現在の価格で13億円から15億円)を全額負担の申し出により、小松市に決まり昭和14年開校となる。



2. 母校の沿革

- | | | |
|---------|--|--------------|
| 昭和14年4月 | 石川県立小松工業学校と称し、機械科と電気科を設置 小松中学校を仮校舎として開校 | 日向 良知 初代校長 |
| 昭和15年4月 | 小松市向野地方2の29に新校舎完成し移転 同時に第二本科機械科を新設 | |
| 昭和22年4月 | 教育基本法・学校教育法が公布され、6・3制新教育発足 | |
| 昭和23年4月 | 学制改革により県立小松商業学校と合併し、石川県立小松実業高等学校と校名を改める。
同時に紡織科新設 | 佐野 健次郎 第2代校長 |
| 昭和24年4月 | 石川県立小松高等学校、小松実業高等学校、小松農業高等学校を合併し
総合制石川県立小松高等学校となる | 中谷 久弥 第3代校長 |
| 昭和27年4月 | 総合制石川県立小松高等学校から分離独立し、校名を石川県立小松実業高等学校と改める。(商業、工業、家庭、農業の4課程あり) | 畑 久治 第4代校長 |
| 昭和28年3月 | 家庭課程を廃止し、在学生徒は石川県立小松高等学校普通科に合併 | |
| 昭和28年4月 | | 明石 与作 第5代校長 |
| 昭和29年3月 | 農業課程を廃止する | |
| 昭和30年4月 | | 出島 喜一 第6代校長 |
| 昭和31年4月 | | 野川 日出雄 第7代校長 |
| 昭和34年4月 | | 本仁 桑次郎 第8代校長 |
| 昭和38年6月 | 小松市打越町丙67番地に新校舎建設し移転 | |
| 昭和39年8月 | 第46回全国高等学校野球選手権に初出場 | |
| 昭和40年4月 | 商業課程分離により校名を石川県立小松工業高等学校と改める同時に工業化学科を新設 | |

昭和41年4月	建築科を新設	藤田 直次 第9代校長
昭和42年4月	土木科を新設	
昭和46年4月		重田 静治 第10代校長
昭和48年4月	紡織科を繊維工学科と学科改編	
昭和49年4月		矢地 実 第11代校長
昭和53年4月		畦地 清光 第12代校長
昭和55年4月	創立40周年記念式典。同窓会会館新設。母校記念式典に本家昭二支部長参加する。同窓会会長 市田政雄氏	矢地 満 第13代校長
昭和58年10月	自転車置場(全6棟完成)	
昭和59年4月		米光 外史彦 第14代校長
昭和61年4月		関戸 信次 第15代校長
昭和63年4月		山 浩二 第16代校長
平成 2年4月	機械科の募集を停止し、機械システム科新設	北川 彰 第17代校長
平成 2年4月	創立50周年記念式典。小松工業学校跡地及び小松農業学校跡地に記念碑を建立し、校内にトレーニングセンター新設	
	母校創立50周年記式典本家昭二元支部長参加。同窓会本部から長年の功績に対し表彰される。学校長 北川 彰、同窓会会長 中 誠治氏。	
平成 3年4月		道下 弘 第18代校長
平成 5年4月		岸野 滋 第19代校長
平成 6年4月	電子情報科を新設。工業化学科及び繊維工学科の募集を停止し、マテリアル科を新設	
平成 7年4月		山本 外喜男 第20代校長
平成10年4月		吉田 昭紀 第21代校長
平成11年10月	創立60周年記念式典。学校沿革の石碑を建立すると同時に校内LANの整備充実を開始	
	母校創立60周年記念式典 西鎮雄元支部長 参加 同窓会本部より長年の功績に対し表彰される。 学校長 吉田昭紀。同窓会会長 國田得太郎氏	
平成12年8月	第83回全国野球選手権に2回目の出場を果す。	
	母校野球部の甲子園出場で関西支部と一緒に本部に合流 中京支部からは6～7名応援	
平成13年4月		清丸 亮一 第22代校長
平成14年3月	校内LAN整備工事完了	
平成16年4月		山守 志郎 第23代校長
平成16年11月	高知県立高知工業高校と姉妹校提携	
平成19年4月		村上 哲夫 第24代校長
平成20年4月	建築科、土木科募集停止、機械テクニカル科、建築土木科新設	
平成20年7月	第91回全国野球選手権石川県大会で惜しくも航空石川に敗れ、3回目の甲子園出場を逃がす。	
平成21年4月		宇都宮 博 第25代校長
平成21年10月	創立70周年記念式典。校門新設、生徒下足ロッカー新設。近10年史発刊	
	桶昭一前支部長と村田輝好支部長参加。	
	桶 前支部長、同窓会本部から長年のご功績に対し 表彰される。	
	学校長 宇都宮 博、同窓会会長 福田耕三氏。	
平成22年8月	昭和41年工E1卒 中野孝一さん、蒔絵で人間国宝に認定される	

現在に至る

4. 石川県立小松工業高等学校(小松実業高等学校)同窓会中京支部の歩み

母校同窓会昭和33年12月編纂名簿によると、小松実業高等学校同窓会は昭和30年に元小松商業学校、工業学校、農業学校の各単位同窓会が発展的解消の上、小松実業高等学校同窓会として一本になったとある。

このような経緯を経て、当支部は昭和32年に支部結成準備会を開催、設立されたものと推察する。

1957年(昭和32年7月) 支部結成準備会開催 江戸川うなぎ店に25名参加
下記の規約審議役員を選出し、事業計画等を審議する。

相談役山崎良雄、石黒重三、支部長新井友二、副支部長
中村市次、幹事長栗井克巳、幹事東他喜男、西鎮男、湯浅清
塩崎俊明

1957年(昭和32年) 7月10日 同総会支部結成準備会開催 江戸川 うなぎ店 25名参加
規約審議役員選出 事業計画等 協議

初代 支部長 新井 友二 (昭和6年小商第7回卒)

1959年(昭和34年) 2月10日 **当支部第一回目の支部総会開催** 名古屋ホテル 29名参加
当時の商業課程と工業科卒業生5名出席
工業卒参加者 西鎮男 本家昭二 折坂外吉 湯浅清 石原純一郎



2代目 支部長 中村 市次 (昭和11年小商第12回卒)

1964年(昭和39年) 8月29日 **支部総会** 栄 円庄

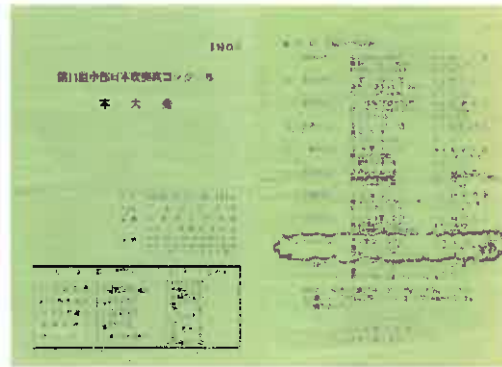
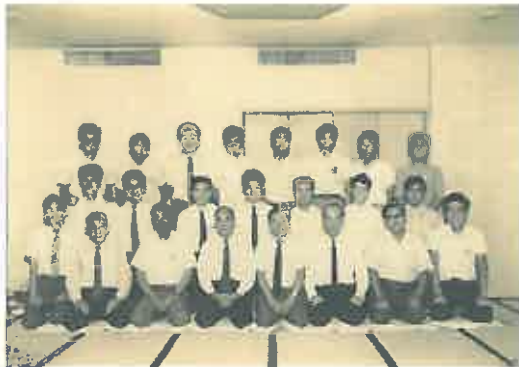
1965年(昭和40年) 4月 校名が小松工業高等学校と改称され、各同窓会再編の動き

1965年(昭和40年) 6月26日 **支部総会** 栄 円庄

小松工業高等学校 同窓会 中京支部を結成

3代目 支部長 西 鎮雄 (昭和17年小松工業第二本科第1回卒)

1968年(昭和43年)8月25日 **支部総会** 栄 円庄 23名参加 (母校&本部役員含む)
名古屋市で本校吹奏楽コンクール出場の為応援差し入れ



1969年(昭和44年)9月 7日 **支部総会** 栄 円庄 16名参加 (母校&本部役員含む)



4代目 支部長 本家 昭二 (昭和18年小松工業電気科1回卒)

1970年(昭和45年)9月 6日 **支部総会** 国鉄 千種荘 14名参加(母校&本部役員含む)



1977年(昭和52年)11月23日 **支部総会** 愛知会館 19名参加(母校&本部役員含む)



5代目 支部長 湯浅 清(昭和20年小松工業電気科3回卒)

1984年(昭和59年)10月20日 幹事会 名駅トヨビル地下B2 竜むら 6名参加

1987年(昭和62年)3月24日 幹事会 名駅前 鶴舞館 6名参加

1989年(平成1年)12月22日 幹事会 名駅前 鶴舞館 3名参加

平成2年 母校創立50周年記念について打ち合わせ

1997年(平成9年)11月1日 幹事会 名駅前都ホテル3F 昴 11名参加



1998年(平成10年)1月31日 幹事会 熱田神宮 鶴亀の間 16名参加

1998年(平成10年)3月7日 幹事会 瑞穂区 甲羅 9名参加

1998年(平成10年)5月16日 幹事会 支部総会最終準備 瑞穂区 甲羅 11名参加

1998年(平成10年)5月31日 **支部総会** 熱田神宮 21名参加 (母校&本部役員含む)



- 1998年(平成10年) 7月 4日 幹事会 瑞穂区 甲羅 12名参
支部総会後の会計報告・今後の運営打ち合わせ
- 1999年(平成11年) 1月23日 新年会 名駅前 都ホテル 四川
12名+来賓1名(北国新聞名古屋支社長) 参加



- 1999年(平成11年) 3月13日 幹事会 名古屋ターミナルホテル 9F アソシエ
7名+来賓1名(北国新聞支社長) 参加

6代目 支部長 桶 昭一(昭和37年小松工業電気科10回卒)

- 1999年(平成11年) 5月29日 **支部総会** 名古屋ターミナルホテル 9F アソシエ
16名+来賓4名(母校&本部役員) 参加
母校創立60周年記念事業について



- 2000年(平成12年) 1月22日 新年会 栄 鳴駒 10名参加
- 2000年(平成12年) 3月 4日 幹事会 支部総会打合せ 笹島 玉喜本店 10名参加
- 2000年(平成12年) 5月21日 幹事会 金山ワシントンホテル プラザで開催
- 2000年(平成12年) 8月 母校野球部2回目の甲子園出場。有志一同関西支部及び本部役員関係者と合同で応援にかけつける。
- 2000年(平成12年) 10月1日 3校対抗ゴルフ大会(金沢市工 小松高校、小松工業)
- 2001年(平成13年) 1月14日 新年会 名駅 レジャック 3F 歌行燈 12名参加
- 2001年(平成13年) 5月20日 **支部総会** 金山ワシントンホテル プラザ 10F ガスライト
16名+来賓4名(母校&本部役員) 参加
- 2002年(平成14年) 1月27日 新年会 金山 欧風居酒屋サウア・ザウア 12名参加

2002年(平成14年) 5月9日

表 竜二博士(H4年工 M27卒) 仏国原子力庁の研究所
留学の為壮行会開催、三菱ダイヤホール 8名参加

博士論文ミニ公聴会

有限要素法による超音波伝ばの数値解析と
非破壊材料評価への応用

名古屋工業大学 機械工学科 表 竜二

2002年5月9日 18:30~

石川県立小松工業高等学校同窓会

会場: 三菱電機健康保険組合 名古屋支部 保険センター



写真左: 超音波を用いた材料
評価の実験風景

写真右: 超音波伝ばの数値
解析結果を可視化し
たもの(横軸東経緯
波数領域を横断)

名古屋工業大学 機械工学科 川崎研究室

2003年(平成15年) 1月26日 新年会 名駅 百楽(中華)

9名+来賓(北国新聞名古屋支社長)1名 参加

2003年(平成15年) 5月18日 支部総会 金山ワシントンホテル プラザ 10F ガスライト

16名+来賓7名(母校&本部役員+北国新聞名古屋支社長) 参加

平成15年6月6日 元支部長 本家 昭二氏 (E1)永眠

2004年(平成16年) 1月18日 新年会 名駅 旅籠家 なごや店 11名 参加

2005年(平成17年) 1月23日 新年会 名駅 札幌かに家で開催

2005年(平成17年) 5月22日 支部総会 金山ワシントンホテル プラザ 9F 旅籠 かやかや

17名+来賓3名(母校&本部役員) 参加

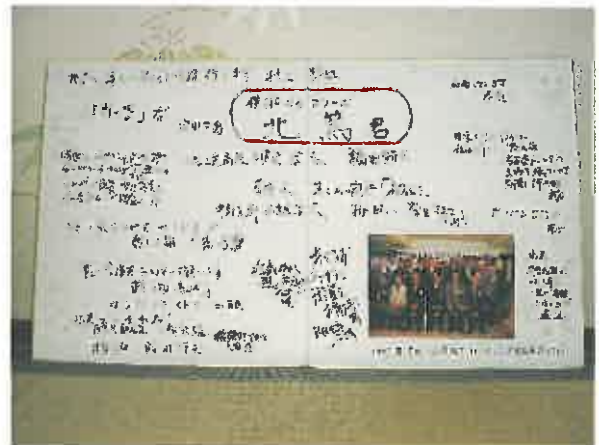
2006年(平成18年) 1月14日 新年会 名駅 札幌かに家 9名 参加

2007年(平成19年) 1月14日 新年会 名駅札幌 かに家 11名 参加

2007年(平成19年) 4月 1日 幹事会 金山 ホワイトベア にて開催

2007年(平成17年) 5月20日 支部総会 18名+来賓5名(母校&本部役員) 参加

名古屋ターミナルホテル アソシエ 19F すいせん



2007年(平成19年) 7月16日 懇親ゴルフコンペ 打越会 (金沢市立工業との対抗戦)

2007年(平成19年) 10月8日 幹事会 嘉文 にて開催

平成19年12月29日 元支部長 湯浅 清氏(E3)永眠

2008年(平成20年) 1月27日 新年会 嘉文 16名参加



2008年(平成20年) 2月26日 ウェスチンナゴヤキャッスルホテル 6名参加

故 湯浅 清 氏を偲ぶ会 開催される

2008年(平成20年) 3月23日 関西支部との初交流会 嘉文 3名参加

(須谷関西支部長、村田当支部長、海道当支部会員)

2008年(平成20年) 6月27日 交流会 今池 若竹クラブ 4名参加

高知工業同窓会(南風会)総会に出席



2008年(平成20年) 7月 7日 交流会 南風会との 2回目のK&K会開催

2008年(平成20年) 7月15日 南風会 松村司郎会長 母校にて講演頂く

平成20年12月 元支部長 中村市次氏 永眠(旧小商12回)

2009年(平成21年) 2月1日 新年会 嘉文 14名参加



2009年(平成21年) 5月23日 **支部総会** 名城前 KKRホテル名古屋 13名+来賓15名
 (母校&本部役員他) 参加 母校創立70周年記念事業について



2009年(平成21年) 6月27日 **交流会** 今池 若竹クラブ 6名参加
 高知工業同窓会(南風会)総会に出席



2009年(平成21年) 7月17日 **交流会** 南風会との 3回目のK&K会開催

2009年(平成21年) 11月02日 **交流会** 南風会との 4回目のK&K会開催

2009年(平成21年) 11月11日 **関西支部 須谷 修治支部長**にお願いし

高知県立高知工業高校にてご講演頂く。(松村南風会会長、村先同窓会会長、村田支部長出席)

2010年(平成22年) 1月31日 新年会 中日ビル 中日パレス 14名+来賓5名 参加



2010年(平成22年) 5月22日 支部総会 中日ビル 中日パレス 14名+来賓13名
(母校&本部役員他) 参加



2010年(平成22年) 6月19日 幹事会 名駅 日本海庄や 4名参加
2010年(平成22年) 6月26日 交流会 今池 若竹クラブ 4名参加
高知工業同窓会(南風会)総会に出席



2010年(平成22年) 7月19日 交流会 南風会との 5回目のK&K会開催
2011年(平成23年) 2月 5日 新年会 笠寺 ワシントンホテル 湯とぴあ宝
13名+来賓5名(南風会役員&会員) 参加



2011年(平成23年) 4月23日 新卒歓迎会 名駅 日本海庄や 12名参加



2011年(平成23年) 6月11日(土) **支部総会** 中日ビル 中日パレス

これ以降は次号にて報告します。